

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム

令和6年度第1回四国ブロック運営会議議事要旨

1. 日時 令和6年6月17日(月) 16時15分～17時10分

2. 場所 愛媛大学城北キャンパス

E.U.Regional Commons 3階地域サステナビリティスペース

遠隔 (Microsoft Teams 利用)

3. 出席者

対面参加

[徳島大学] 大薮准教授、瓜生助教 [鳴門教育大学] 阪東准教授 [愛媛大学] 八尋理事・副学長、平野教授、松浦教授、二宮教授、原本准教授、石川准教授、尾國教授、岡村助教 [高知大学] 佐々教授、三好教授 [香川大学] 高橋教授、林教授、宮崎教授、藤澤特命講師 [愛媛県立医療技術大学] 金澤准教授 [松山東雲女子大学] 小西教授 [弓削商船高等専門学校] 榎本准教授

遠隔参加

[徳島大学] 寺田教授 [鳴門教育大学] 田中准教授、石川講師 [愛媛大学] 羽藤教授、 [高知大学] 野村教授、原准教授、菅原特任講師 [香川大学] 久保特命講師 [新居浜工業高等専門学校] 占部准教授

陪席者

対面参加

[四国経済産業局] 地域経済部 製造産業・情報政策課 合田係長、小松係長 [徳島大学] 岩森課長 [愛媛大学] 西岡事務補佐員、石川研究補助員 [愛媛県立医療技術大学] 松田主事 [徳島文理大学] 山本教授 (当日参加) [香川大学] 角田課長、澤井再採用職員、萬木事務補佐員、細川事務補佐員

遠隔参加

[徳島大学] 白田副課長 [鳴門教育大学] 三室係員 [高知大学] 福島係長、晦日係員 [香川大学] 藤沢部長、中村技術補佐員

開会に先立ち、高橋議長 (香川大学) から挨拶があり、司会進行は、高橋議長の指名により林教授 (香川大学) が行うこととなった。

4. 議題

(1) 各県の取組状況について

四国ブロック内の各県の高等教育機関の状況について、資料に基づき、瓜生助教 (徳島大学)、平野教授 (愛媛大学)、佐々教授 (高知大学)、高橋議長 (香川大学) から各県の報告があった。

(2) 四国経済産業局との協力体制について

高橋議長から、令和6年3月6日開催の総会以降の四国経済産業局との連携についての進捗状況報告とともに、議題資料2の実務家教員派遣希望様式のサンプルを参考に、自大学の課題を可視化しながら実務家教員派遣の運用を進めていくよう発言があった。タイミングの問題、周知の徹底について等、今後の活用にあたっての活発な意見交換があった。

また、合田係長（四国経済産業局）から、経済産業省ではデジタル技術をビジネスの場において実践的に取り組むスキルを身につけた人材の育成に向け各種施策を打つなど、人材確保の重要性を認識する一方、企業においては個々に課題があり、四国経済産業局としても人材不足の中、自社事業に取り組む企業の状況を注視しつつ、企業のメリットも考慮しながら実務家教員派遣について香川大学と連携をとっていきたいとの発言があった。

(3) 「標準教材データベース構築ワーキング第1カテゴリー」WGにおける香川大学作成教材に関する意見聴取について

宮崎教授（香川大学）から議題の提案理由について説明があり、藤澤特命講師（香川大学）から提案理由の詳細等の説明後、当該教材に関して意見をいただきたいとの発言があった。

なお、司会の林教授の提案により、内容が多岐にわたるため意見聴取は改めて期間を設け、香川大学修学支援課を窓口に、個人もしくは大学でとりまとめたうえで提出することとなった。

高橋議長から教材のワーキングをまとめて、11月を目途に全国に展開していく予定の情報共有があった。

(4) その他

次回の開催予定について、林教授から12月にオンラインにて開催予定との案内があった。

合田係長から経済産業省が提供するマナビDX Questの詳細説明と公募開始の周知があった。

八尋理事（愛媛大学）から、総評があった。

閉会挨拶 高橋議長から、閉会の挨拶があった。

以上